

音更町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

音更町では、十勝バス株式会社が4路線を、北海道拓殖バス株式会社が9路線を運行しており、学生や高齢者にとって不可欠な交通機関となっている。また、市街地においては、町が上述の両バス会社と協定を締結し、町内の主要な公共施設などを連絡するコミュニティバスを運行しており、町民の日常的な移動手段として重要な役割を果たしている。

一方で、農村部では公共交通を利用できない空白地帯が存在し、自家用車による移動が困難な高齢者や運転免許を持たない方などは、移動が制約され不便な生活を強いられていた。このことから、効率的で持続可能な公共交通の確保や、公共交通の利便性の向上を図ることを目的として、農村部における予約制乗合タクシーの導入を行ったところである。

今後は、少子高齢化の進行により、交通弱者の更なる増加が見込まれるが、地域公共交通確保維持改善事業により、町内における公共交通手段を維持・確保するとともに、日常生活の移動確保や地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援などを図り、住民の生活の足としての公共交通を存続させていく。

生活交通確保維持改善計画の目標

【目標】散居形態の農村部における公共交通への満足度の増加
令和4年度(令和3年10月1日～令和4年9月30日) 72.0%
令和5年度(令和4年10月1日～令和5年9月30日) 74.0%
令和6年度(令和5年10月1日～令和6年9月30日) 76.0%

【目標設定に係る参照事項】

「音更町地域公共交通網形成計画(平成29年6月策定)」

第6章「計画の進行管理」

6-1「計画の目標」

「新たな公共交通への満足度」 70.0%(令和3年度目標値)

令和4年度事業概要

予約制乗合タクシーの運行

【起点】音更タクシー前 【経由地】音更・木野市街地 【終点】木野農協前 【実運行日数】241日 【実運行便数】600便

地域公共交通の現況

- ・予約制乗合タクシー(農村部⇔町内市街地)
- ・コミュニティバス(一日3便、2台体制)
- ・スクールバス(12路線)
- ・十勝バス(株)(町内4路線)
- ・拓殖バス(株)(町内9路線)

協議会開催状況

※直近の2年度分を記載

【令和3年度】

・6月16日～6月30日(第1回)事業報告、フィーダー計画、網形成計画の計画期間1年延長について協議・承認

・12月28日～1月13日(第2回)地域公共交通確保維持事業評価(地域内フィーダー系統)の書面協議・承認

【令和4年度】

・4月18日(第1回)事業報告及び収支予算案、地域公共交通計画の方向性、計画策定調査の実施内容の協議・承認

・6月22日(第2回)協議会規約の一部改正、フィーダー計画の協議・承認

・11月1日(第3回)計画策定調査の結果報告、網形成計画の評価結果報告、地域交通計画の方向性協議・承認

・11月24日(第4回)地域公共交通計画(素案)、パブリックコメントの実施について協議・承認

・12月16日～1月12日(第5回)

地域公共交通確保維持事業評価(地域内フィーダー系統)の書面協議

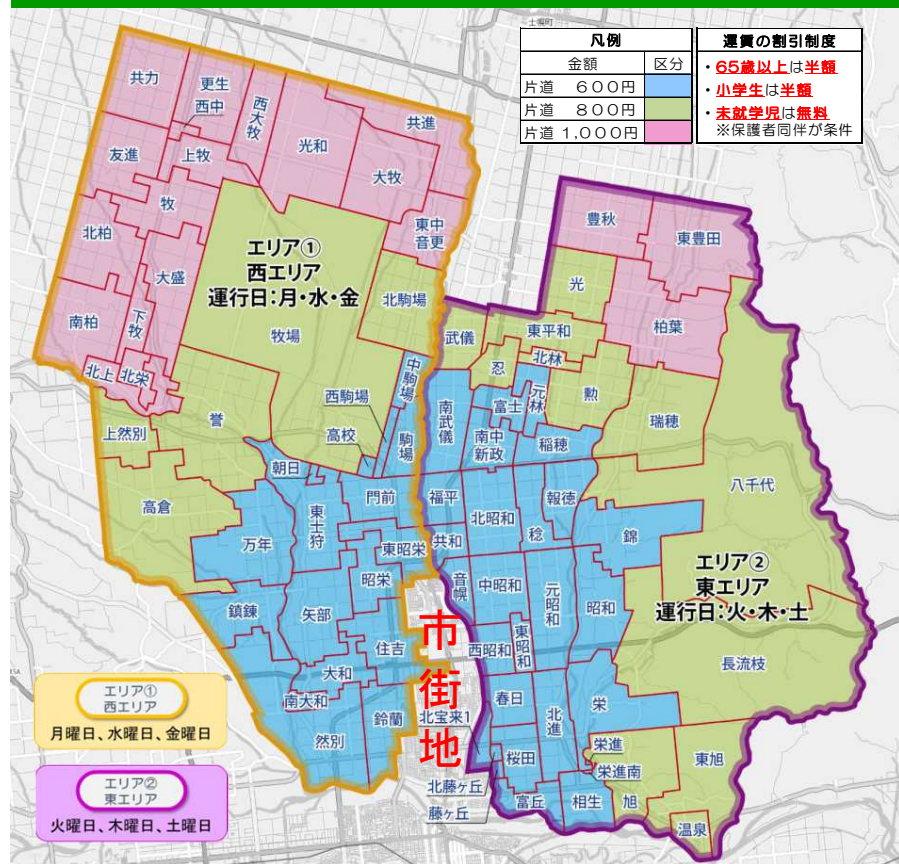
令和4年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

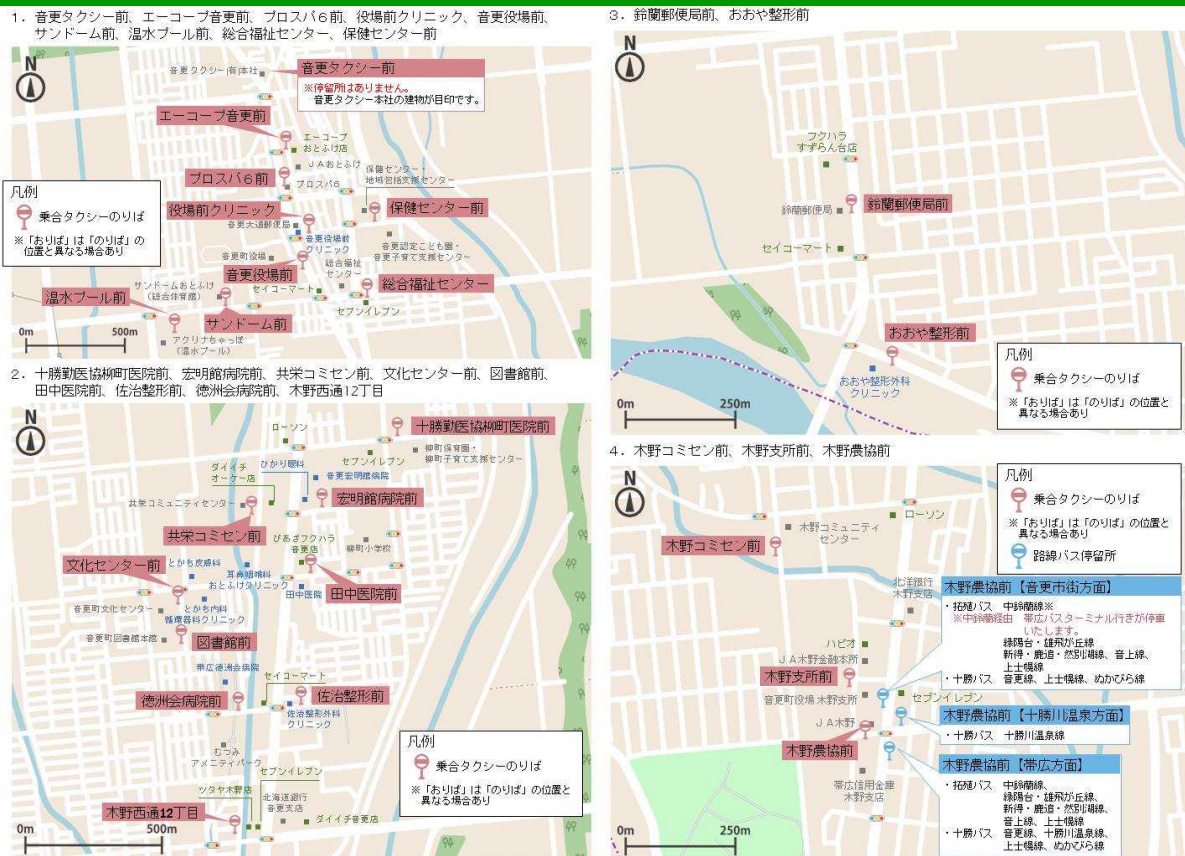
- ・バスマップを活用して地域間幹線系統との接続状況等について周知した。
- ・乗合タクシーの利用者や未登録者のニーズを把握するため、4月26日(火)～5月22日(日)にアンケート調査を実施した。
- ・乗合タクシーの利便性向上に向けて、利用者に対し10月24日(月)～11月18日(金)に満足度アンケート調査を実施した。

2) 運行系統

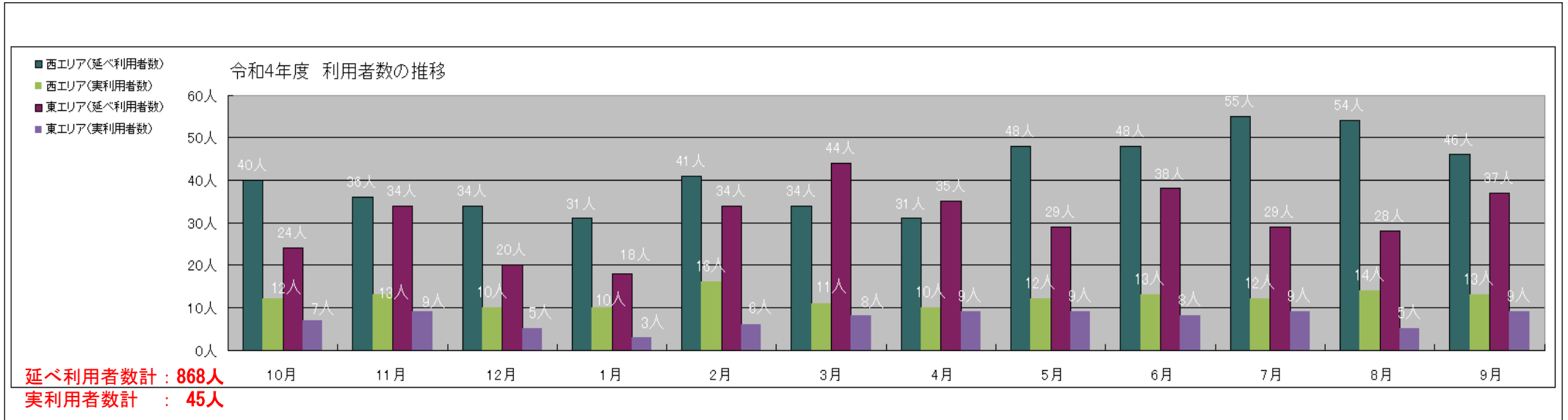
エリアごとの運行日と運賃



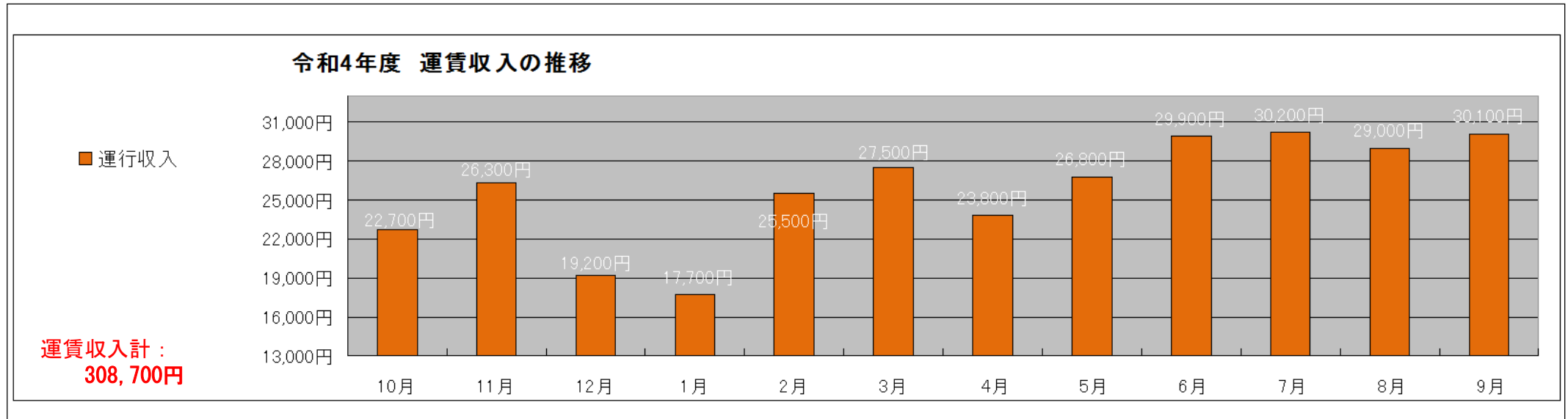
市街地の停留所 (1:音更市街、2~4:木野市街)



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

【 評価:A 】

計画どおり事業は適切に実施された。

7) 事業の今後の改善点

今年度実施した農村地域予約制乗合タクシー登録者及び未登録者アンケートの結果を参考に、引き続き、利用者の増加や利用促進に向けた取組を実施し、持続可能な運行を目指す。

6) 目標・効果達成状況

【 評価:A 】

令和4年度の散居形態の農村部における公共交通への満足度増加目標値が 72.0%であるのに対し、10月24日(月)～11月18日(金)に行った利用者満足度アンケート調査(実利用者23人回答)では普通～満足と回答した人の割合が95.5%となり、目標を達成している。

8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和5年度分と併せて評価)